



## パナソニック、スポットライト型プロジェクター「Space Player」の2,000lmタイプ発売



▲ 2016年10月14日には、「Space Player」の新製品発表会が開催された。写真は、製品説明を行うパナソニック(株)エコソリューションズ社 ライティング事業部の山田 純氏。

パナソニック(株)エコソリューションズ社は、スポットライト型プロジェクター「Space Player (スペースプレーヤー)」の2000lmタイプを、2016年11月1日より販売開始した。

Space Playerは、照明とプロジェクターの機能を持つ製品であり、空間になじむコンパクトなデザイン、長寿命のレーザー光源採用による省メンテナンス性、PCやタブレットなど幅広い機器からのコンテンツ再生機能、投映方向を自在に変えられる可動構造などが特長だ。

今回発売した2000lmタイプは、同社従来品比2倍の明るさで、比較的明るい空間でも、鮮やかな映像演出を実現するという。また、照明器具個別に明るさと色温度を制御できる「マルチ調光調色システム」との連動も可能になっており、Space Playerの投映タイミングにあわせて、最適な照明シーンを再現できる。

このほか、リモコン操作によるSpace Player複数台の一斉ダイレクト再生機能や、ワイヤレスで音声出力ができるBluetooth発信機能を搭載、専用ソフト「チョークアートメーカー」<sup>※1</sup>との組み合わせによる演出の実現など、ネットワーク機能が拡充されている。配線ダクト取付け型、天井直付け型、床置き型の3タイプ<sup>※2</sup>、カラーは各ホワイトとブラックをラインアップ。

※1 “黒板にチョークで文字を書いている”ような演出や、“文字が黒板消しで消される”ような演出が可能。  
※2 天井直付け型と床置き型は2017年2月発売。



▲ 明るさが従来品比2倍の2000lmとなった「Space Player」の新機種。照明器具個別に明るさと色温度を制御できる「マルチ調光調色システム」との連動も可能になっており、「Space Player」の投映タイミングにあわせて、最適な照明シーンを再現できる。



▲ 「Space Player LAB」(東京都品川区)で実施された新製品発表会では、「Space Player」による演出も多数披露された。